

たたかえば勝利する

—米国における教員組合の組織化

バーバラ・マデローニ

鈴木大裕

I バーバラ・マデローニさんの講演

この講演ではいくつかの大きな問題について話します。公教育に対する新自由主義的な攻撃とのたたかいを、教員組合がどのように組織しているのか？保護者との連帯の構築はどのように進めるのか？社会正義労働運動をどのように組織するのか？そしてこれらの課題に、教師が多忙で組合員が減少している中でどのように

取り組むのか？

その前に、組織化の基本的原則について取り上げたいと思います。そしてその原則を用いて、質問を検討していきたいと思います。

組織化(organizing)の基本的原則には以下が含まれます。

- ・組織化とはパワーのバランスを転換すること。
- ・組織化は、一对一、集団的な関係性の中に基礎を置いていること。

・組織化は、共有された展望を通して團結を構築すること。

・組織化は、労働者が仕事について考え、決定し、指揮する能力へのコミットメントを基礎としている。言い換えると、私たちは民主的に組織化するということ。

パワー・バランスの転換

がちです。しかしこれが真実なら、教員は民主的な職場で、尊厳と敬意を持って扱われ、教師の専門性は自律性の中において認められ、教室の中でそれは実践され、仕事を進めるための時間を確保できるでしょう。

しかし米国では特に新自由主義的資本主義の下で、現実はそうなっていません。教師は過労で、カリキュラムへの裁量は減少し、公教育そのものを破壊し民営化へと道を開くために公教育は予算削減の対象となっています。教師の日々の生活は時間、行動の標準化への負担が増大し、民営化へと扉を開く緊縮財政政策に苦しめられています。これらの条件を拒否するパワーを構築し、民主的な職場を勝ち取り、生徒と教師が必要とすることに集中することで、学校は生徒と教師が花開く場にする。それは教員組合にかかっているのです。

米国では教師自身がパワー（特にストライキの力）を明確に理解した上で組織化することによって勝利を重ねてきました。二〇一二年のシカゴ教員組合、二〇一八年のウエストバージニア州の教員組合、二〇一九年のロスアンゼルス教員組合（ULTA）、そして公立学校教員によるストが違法になっている最近のマサチューセッツ州での三つの教員ストに見られるように、ストの力と連歩させるパワーを構築できた時です。教育においては、教師と管理職はしばしば同じ利益を共有していると考え

Barbara Madeloni
前マサチューセッツ教員組合(MTA)委員長
レイバーノーズ・スタッフ

すずき だいゆう
教育研究者・土佐町議会議員
著書に『崩壊するアメリカの公教育——日本への警告』
（岩波書店、2016年）など